



# ICT街づくり推進会議 地域懇談会

三重県 玉城町

## ICTを活用した安心・元気な町づくり事業 平成26年5月2日

実施機関：株式会社アルヴァス  
コガソフトウェア株式会社  
株式会社トランソニックソフトウェア  
株式会社松阪電子計算センター



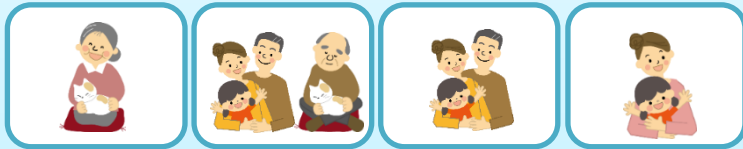
## 町が抱える課題

住民の高齢化に伴う核家族化や世代間格差  
住民相互のコミュニケーション不足による  
共助の希薄化、それに伴う公助の負担増

- ❑ 町全体の相対的機能の低下
- ❑ 自治体の人的・予算的負担の増加

### かつての長屋の「絆」

Aさん宅 Bさん宅 Cさん宅 Dさん宅



#### 井戸端会議

Aさん宅は一人暮らし  
Bさん宅のおじいちゃんは「風邪」を引いたらしい  
Cさん宅の奥さんは来週旅行に行く  
Dさん宅の子供は来年小学校

長屋が人的「共通プラットフォーム」として機能  
長屋全体で情報を共有し、井戸端会議で情報をアップデート

個人主義の台頭・核家族化 → 薄れゆく「絆」

### 共通プラットフォーム

- 自治体
- 研究機関
- 民間企業

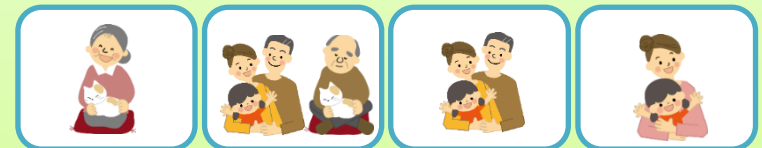


情報の格付け  
共通ID

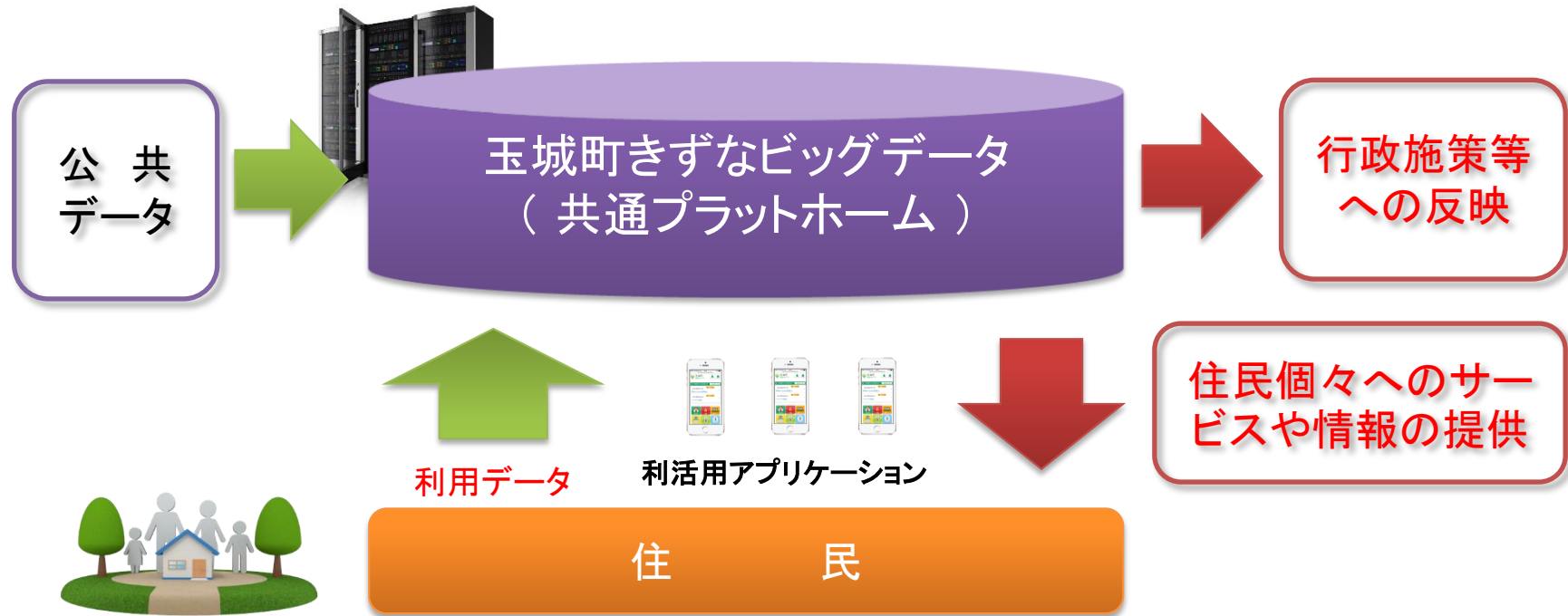
個人情報保護

安全に情報を収集し、  
必要な情報を有効に共有

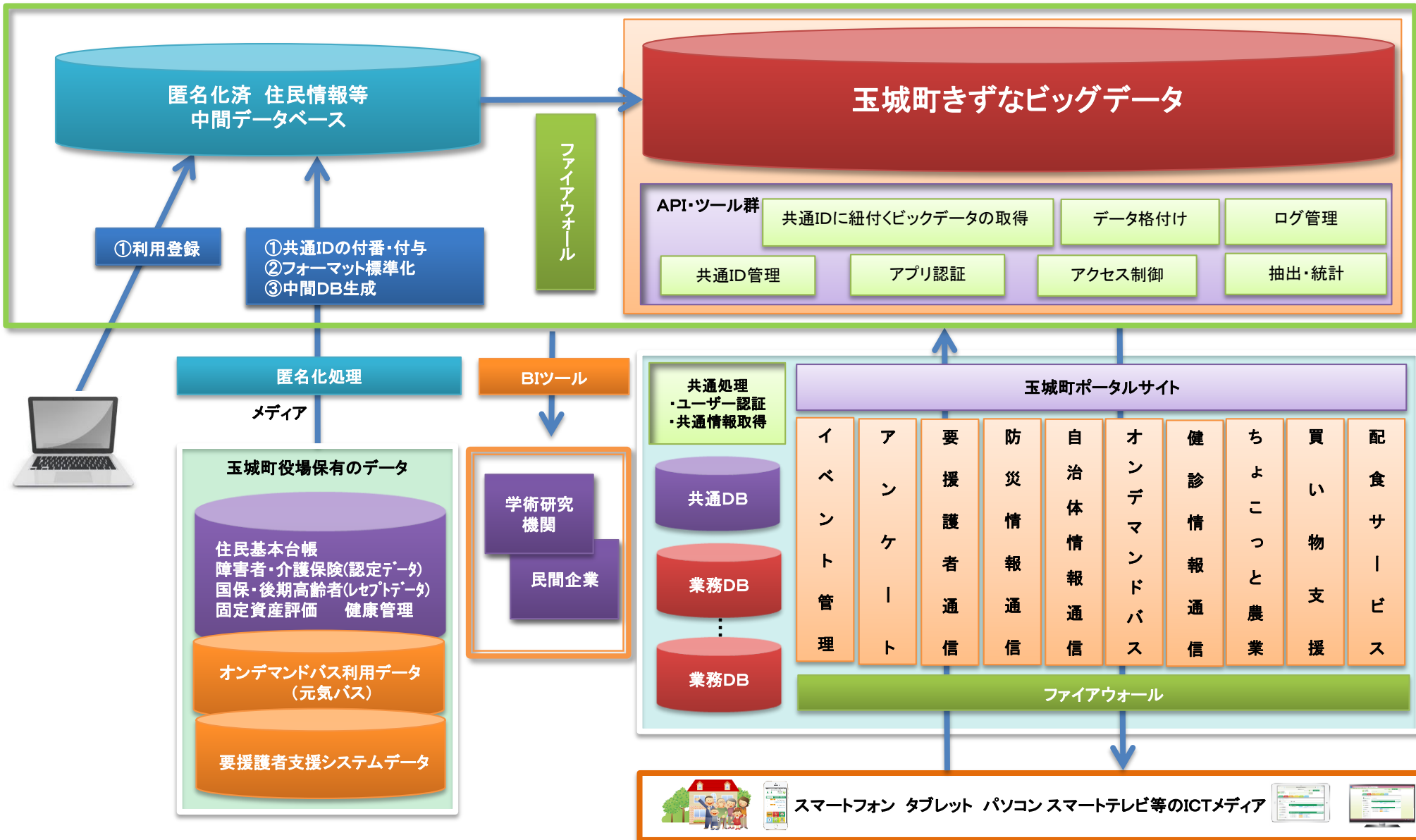
Aさん宅 Bさん宅 Cさん宅 Dさん宅



ICT を 共助・公助に効果的に  
活用し「絆」の再生を支援



- 玉城町が保有している公共データと民間企業や各種団体が持つデータを共通IDで紐付けた共通プラットフォームを構築、各データを格付けし、データ利用者の属性により利用できるデータを管理するとともに、接続インターフェースを規定・実装し、それらを公開する。
- 各種団体は、利用を許可されたデータを独自に分析し、その活動に活かし、地域経済の活性化に資するとともに、その活動結果を共通プラットフォームに還元する。
- 町は、共通プラットフォーム上の全てのデータを分析し、公平性のある公的行政サービスの向上や将来の各種施策、防災計画等の見直しに資する。





ポータルサイト



自治体情報通信



防災情報通信



健(検)診情報通信



要援護者情報通信



ちよこっと農業



配食サービス



買い物支援

○ 行政は、住民個々に対して必要とされる情報を提供  
 ○ 住民は、必要とされるサービスを選択して利用

○ 災害時等には、すべての機能を活用し、情報等を収集、提供



公共データ	
データ名 / レコード数	
宛名	42,750
国保資格	614,402
介護保険	372,840
後期高齢	2,650
固定資産	114,878
障害者福祉	2,754
健康管理	154,524
要援護者	936
国保レセプト	222,925
後期レセプト	128,218
オンデマンドバス	6,523



利活用アプリケーションから送られてくるデータ	
ポータルサイト	閲覧ページログ
自治体情報通信	ログイン情報、興味のある項目、配信希望地区、性別、利用アプリ情報、閲覧ページログ
防災情報通信	避難所検索ログ、水利情報検索ログ、安否確認グループ情報、安否確認応答情報、プッシュ通知応答情報、閲覧ページログ、管理者情報
健(検)診情報通信	健(検)診情報、予約情報、閲覧ページログ
要援護者通信	災害情報、安否確認応答情報、プッシュ通知応答情報、閲覧ページログ、管理者情報
ちよこつと農業	作物情報、問い合わせ情報、ブログ情報、閲覧ページログ、管理者情報
買い物支援	配達希望者情報、配達先位置情報、配達状況情報、配達者情報、閲覧ページログ、管理者情報
配食サービス	配食希望者情報、配食先位置情報、配食希望日情報、お弁当種類情報、配食業者情報、元気度質問情報(アンケート質問情報)、元気度回答情報(アンケート回答情報)、閲覧ページログ、管理者情報



分析データ名	データ種類の組合せ
受診状況と医療費比較	健康管理データ + レセプトデータ
健(検)診受診率と未受診者一覧	健(検)診情報通信 + 健康管理データ
元気バス移動者の健(検)診受診率	元気バス移動ログ + 健(検)診データ
元気度モニタリング異常時前後の健(検)診受診状況	元気度ログ + 健(検)診データ
web広報確認状況による健診率	自治体情報通信 + 健康管理
要援護者による情報確認状況	自治体情報通信 + 要援護者
防災情報確認比率	自治体情報通信 + 防災情報通信 + 要援護者 + 障害者福祉
災害時地区別住民確認一覧	宛名 + 要援護者 + 障害者福祉

従来は隠れて見えなかった情報の可視化

共通プラットフォームの  
効率的な運営  
行政界にとられない  
サービス展開  
広域災害への対応

## 共通プラットフォームの広域展開

近隣市町の民産学公官がより一層連携することにより、共通プラットフォームを効率的に運営しつつ、自治体の行政界にとられない利活用、広域災害対策に資する。



A市  
ビッグデータ

B市  
ビッグデータ

C町  
ビッグデータ

玉城町  
ビッグデータ



●●● 広域共通プラットフォーム(仮)  
※ 玉城町きずなビッグデータのシステムを利用

共通  
アプリケーション

自治体情報通信  
観光情報通信  
防災情報通信  
イベント管理情報通信  
要援護者情報通信  
アンケート情報通信  
※ 玉城町で開発したシステムがある場合は一部改修して利用

自治体ごと  
独自  
アプリケーション

オンデマンドバス  
配食サービス  
健(検)診情報通信

健(検)診情報通信  
新規アプリケーション

要援護者通信  
新規アプリケーション

買い物支援  
新規アプリケーション

